

内水試 かわら版

65号

春の水温は

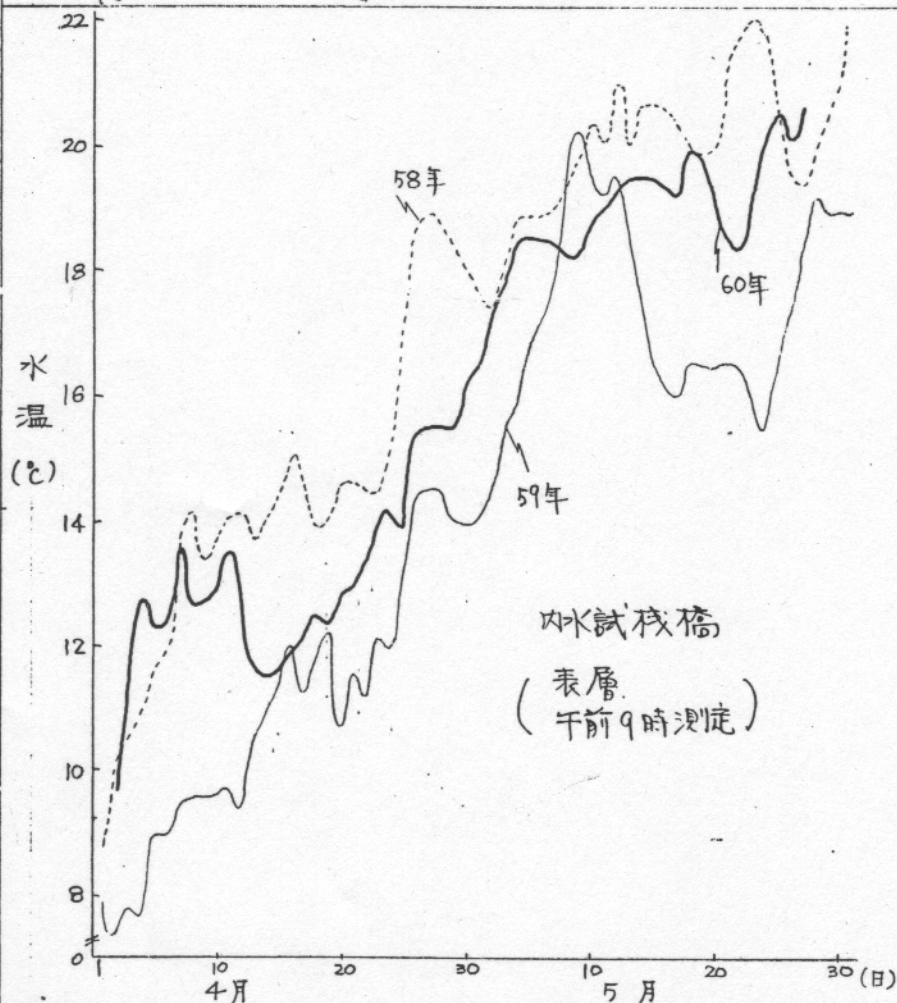
低かったか？

今年の水春の水温は、例年に比較して、低いのではないかと聞かれます。下の図は、五十八、五十九年の四、五月の水温を示したものです。

五十八年より低い傾向にあります。その差は、そう大きくありません。この時期の霞ヶ浦は、上の水が良く混合して、水深による水温差はあまりありません。

ところで、小型のエビが、今多くみられます。この原因として、「春の水温が低かったから」と考えている方が居るようです。

ですが、この考えは、図から明らかのように、理由としては、適当ではないようです。昨年春のエビの不漁は、



冬期間の低水温の影響であらう、と考えています。しかし、今春の小型のエビについては、これと区別した方がよいようです。

内水試では、小型のエビが多い理由として、次の三点を考えています。

- ① 昨年のエビの発生量が多く、餌が不足し、成長が悪かった。
- ② 産卵期が、例年より長引いたために、十分に成長できなかった。
- ③ 例年でも、この時期、小型のエビが居るが、発生量が多いため、目につく数が多い。

エビは重要な資源ですので、今後とも調査研究を続けて行きます。